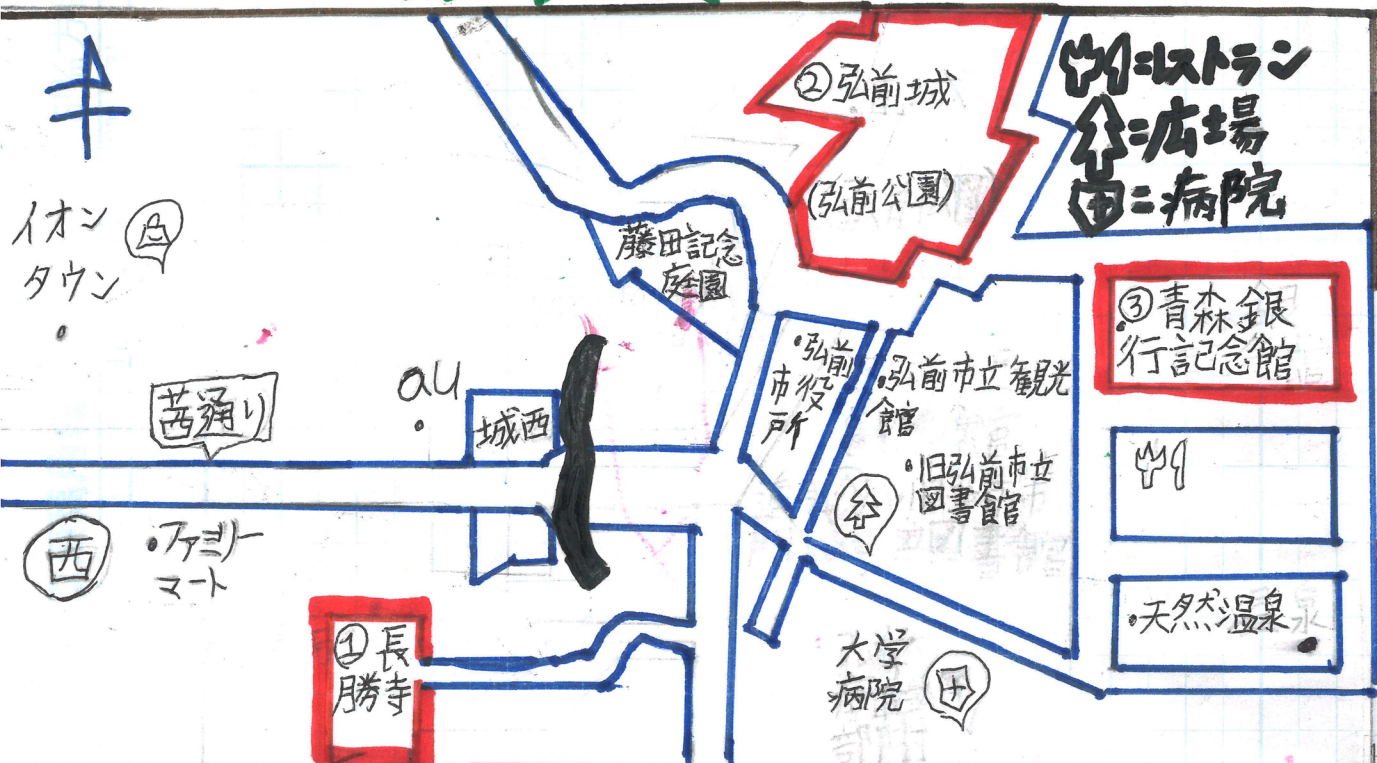
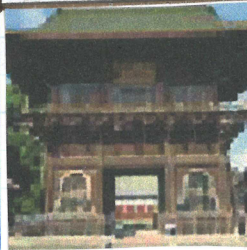


弘前文化財マップ



①長勝寺

このお寺は、1528年に大浦盛信(おおうらもりのぶ)が、父の光信のぼだいをとむらうために、創建されたお寺です。そして、現在のあじがさわ町から、弘前市に移された。本堂に入ると、津軽家縁がまつられてる。また、弘前城のうらきもんちんごの役割だけでなく、長勝寺を中心に構成された禪林街全体が、弘前城の出城的機能を持っています。



昭和11年に国指定重要文化財となった。高さ16m、円柱を一層から、二層までの通し柱としている。1809年、大きな改修が行われ、仁王像を置くなどの改変が行われた。(画像で見るより、実際に見た方が、昔の建物のはく力など)が行わ、てすごい。

②弘前城(門)

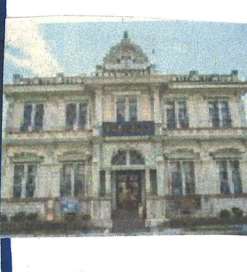
弘前城は、何度も場所を変えていて、平成27年に天守をいさや(いさやとは、城を大勢でひらき、城を動かすこと)平成28~30年で、石垣の解体完了。令和2年から、積直し工事を開始。このように何度も場所を変えている。



追手門からは、65cmの深さから、江戸時代の地層が発見されている。また、その上層からは、昭和38年に設置された、コンクリート基礎があり、歴史の重層が確認できる。(青森の代表レベルの城、じっさいに行、てその深い歴史を見)に行、てみて、ザ・日本て感じがします。

③青森銀行記念館

明治31年、(1903年)に完成した、第五十九銀行本店の建物である。石づくりに見えるが、木材を使用して、建てられた。中央の入口や、正面屋根に突き出た部分などに、アーチ状のデザインを用いている。そして、ガベの中にかわらを入れてぬりこめたり、土戸を使用するなどの防火構造になっている。また、堀江佐吉(ほりえ さきち)の最高級、さくといわれるほど、きれいな造りになっている。また、天井の金唐革紙や、けやきのカウンターなど、いままでは、手に入らな、高価な材料をたくさん使った、どうかな建物です。中に入ると、白い柱(きゅうでん)にありそうながあるが、それも木を使、ている。それと、アーチ状のデザインを、同じように作れる人は、いないので、とても大事にされている。(昔の大事な建物、実際に見ると石に見えるけど木づくりに)ます。昔の人の技術がわかる。



①長勝寺

この像、一人のおばあちゃんかだいて、つれてきたらしいよ!!



長勝寺の中

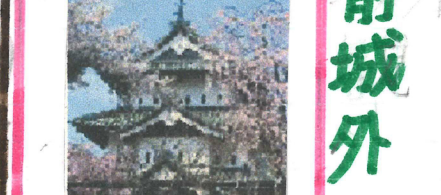
これが庫裏か、中に何かあるだろう、入ってみたいなー。



長勝寺庫裏

②弘前城

一度がみたりが、さちたから、一段とくなくなっちゃった。



弘前城外

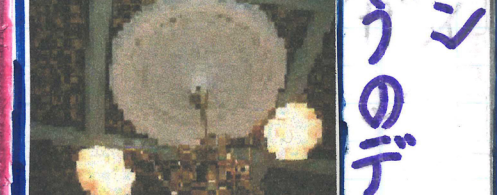
弘前公園に来たら、門めぐりもしてみてね



追手門外観

③青森銀行記念館

これがうわさのデザインか。



内サイン

これ、石とかじゃなくて木で造ってるんだ、て!!



青森銀行記念